第12回　The 12th Surgical Education Summit

日本外科教育学会 学術集会

一流は人を残す

～ 古都から始まる学びの連鎖 ～

プログラム

日　　時	2025年9月13日（土）～14日（日）
会　　場	京都大学　藤多記念ホール（薬学部記念講堂） 〒606-8501　京都府京都市左京区吉田下阿達町 46-29
開催形式	ハイブリッド形式（現地参加または WEB 参加）
会　　長	肥田 侯矢（京都大学 消化管外科）
学会 HP	https://surgicaleducation.jp

KYOTO

TRADITION MEETS INNOVATION

Your Japan is Here

本事業は、京都市および公益財団法人京都文化交流
コンベンションビューローの助成金を活用し実施しています。

第 12 回日本外科教育学会学術集会

SES2025

「一流は人を残す」

～古都から始まる学びの連鎖～

会　長

肥田　侯矢（京都大学消化管外科 准教授）

目　次

学会長挨拶・・・

学会長挨拶

このたびは第 12 回日本外科教育学会学術集会にご参加ありがとうございます。11 年間にわたり北海道ではぐくまれ、研究会から学会へと成長してきた本学会ですが、初めて津軽海峡を渡り京都で開催させていただくことになりました。これまで積み上げられてきた伝統を引き継ぎ、新たなステージで多くの先生方と活発に議論させていただきたいと思います。

今回もできるだけディスカッション時間をとりたいと考え、昨年に引き続き口演は発表6分､質疑4分とさせていただきました。皆さんの教育に対する熱い思いをぶつけあっていただくことを期待しています。

今回、ありがたいことに例年の 2 倍にあたる 85 演題の登録をいただきました。すべてを口演で発表頂くことは難しく、約半数をポスターでの発表とさせていただいています。ポスターにおいても活発な議論をいただければ幸いです。

9 月の京都は例年残暑が厳しく、今年も猛暑が予想されています。是非皆様におかれましてはクールビズ・ノーネクタイでお越しください。学会長・スタッフもノーネクタイで対応させていただきますのでよろしくお願いいたします。

例年、この学会では発表と質疑の後に拍手をいただいています。ポスターセッションにおいても同様に拍手で盛り上げていただければと存じます。

第 12 回日本外科教育学会学術集会
会　長　肥田　侯矢
（京都大学消化管外科 准教授）

会場へのアクセス

会場は藤多記念ホール（薬学部記念講堂）：京都大学大学院薬学系研究科・薬学部内の医薬系総合研究棟 1F/2F で行います。
住所：〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46-29
Tel：075-753-4510, Fax：075-753-4502（事務室）
受付は鞠小路通側からお入りください。

最寄駅：京阪電車（鴨東線）	神宮丸太町駅 5 号出口より徒歩 8 分 （詳細はアクセスマップを参照ください。）
最寄バス停	近衛通（市バス 201 系統、206 系統、31 系統；徒歩 5 分）
	熊野神社前（市バス 65 系統、201 系統、206 系統；徒歩 8 分）
	荒神橋（京都バス 17 系統；徒歩 6 分）
	荒神口（市バス 205 系統、7 系統；徒歩 10 分）
	丸太町京阪前（市バス 202、204 系統；徒歩 10 分）

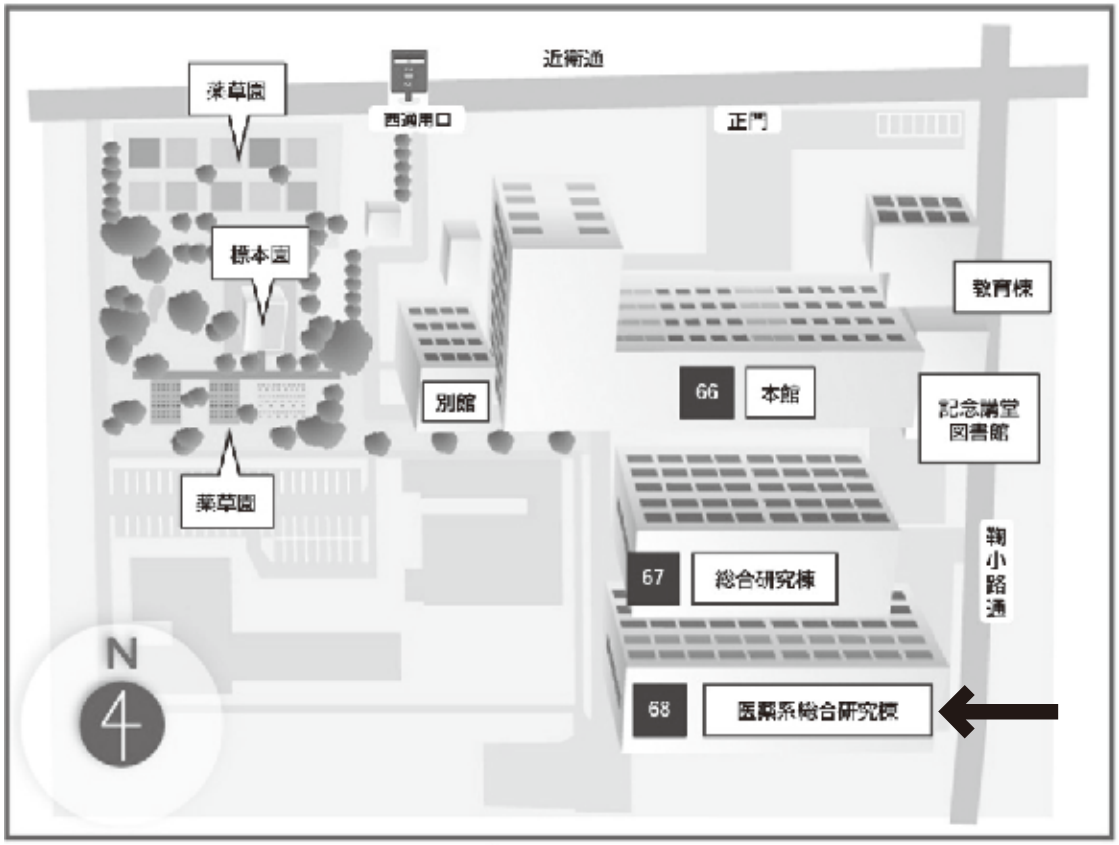
JR 京都駅から：市バス 206 系統（熊野神社前　約 30 分、近衛通　約 32 分）
市バス 205/7 系統（荒神口　約 25 分）、京都バス 17 系統（荒神橋　約 30 分）
JR 二条駅：201 系統（熊野神社前　約 27 分）
阪急四条烏丸駅 / 地下鉄四条駅から：201 系統（熊野神社前　約 16 分）、
31/65 系統（熊野神社前　約 20 分、近衛通　約 22 分）

所要時間は推定です。混雑状況により前後します。

アクセスマップ

https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/access/

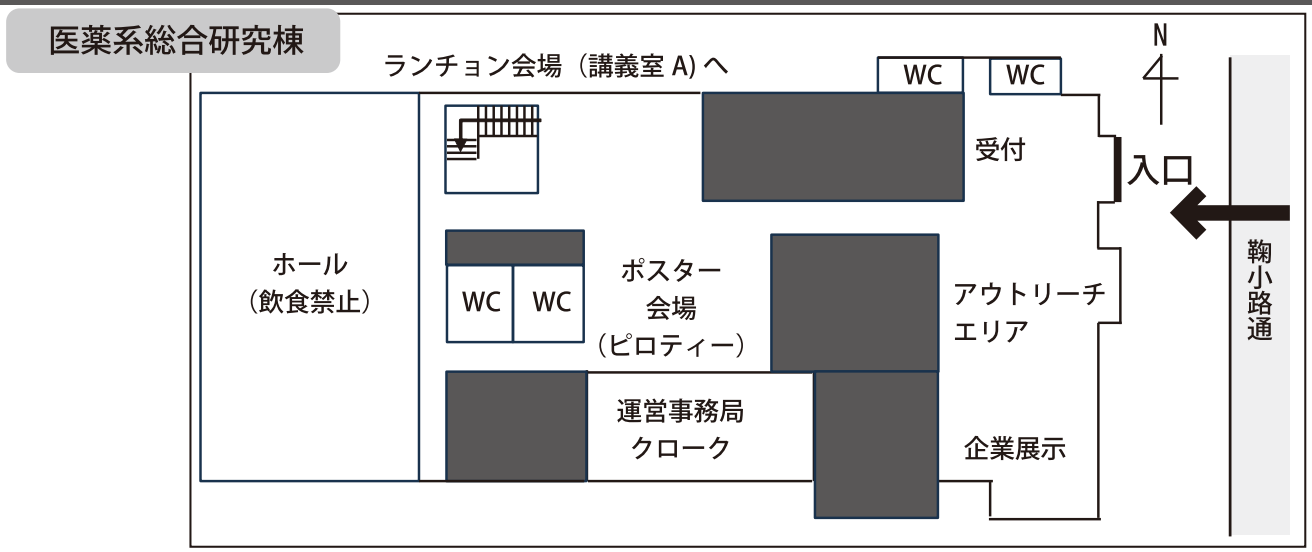
周辺マップ



https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/access/campus/

藤多記念ホール（薬学部記念講堂）：京都大学大学院薬学系研究科・薬学部内の医薬系総合研究棟 1F への案内図

会場案内



藤多記念ホール（薬学部記念講堂）：京都大学大学院薬学系研究科・薬学部内の医薬系総合研究棟 1F
出入口は防犯上の観点から、鞠小路通に面します東口のみとさせていただきます。

発表について

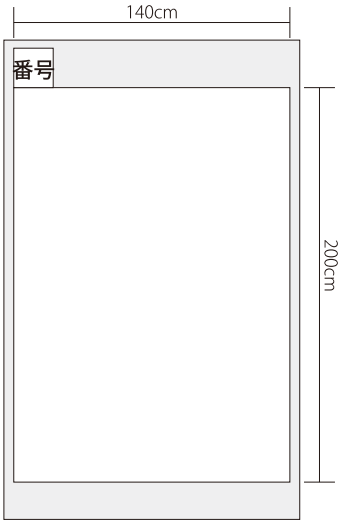
発表は原則として現地発表のみとさせていただいています。採用された演題は筆頭演者に発表いただくことを原則としております。しかしながら不測の事態により筆頭演者が発表できない場合等、事前にご相談ください。

口演発表のみなさまへ

発表は原則現地のみとなっております。口演発表は 6 分（質疑 4 分）となっています。質疑の時間をしっかりとるためにも、発表時間は厳守ください。発表者もノーネクタイでご登壇ください。スライド、ポスターには COI 開示もお願いします。

ポスター発表のみなさまへ

ポスターのサイズは横 140cm、縦 200cm 以内で作成してください。遠くからも見えるように分割印刷の際は B4 用紙を使うなど、文字サイズを大きめにしていただくことをお勧めします。ポスター発表は 5 分（質疑 3 分）となっています。



ポスター貼付の時間

1 日目　10 時－13 時
2 日目　9 時－11 時

ポスター撤去

1 日目　20 時－21 時（懇親会時）
2 日目　14 時－16 時

※ポスター発表の配信はありません。

演題登録について

1. 口演演題は事前登録をお願いしています。PowerPoint の形式でフォームへご登録ください。
2. データは Microsoft 標準フォントを使用して下さい。
3. 会場では Windows　PC、PowerPoint の最新バージョンをご用意しております。

参加のみなさまへ

◆服装

クールビズ・ノーネクタイでお越しください。スタッフもノーネクタイで対応します。

◆ネームカード

当日受付で参加証明・領収書とあわせてお渡しします。

◆抄録集について

環境への影響を考慮し原則 PDF で配布いたしますが、印刷冊子が必要な方は受付よりお持ちください。

◆学会カバンの配布

京都風のコングレスバッグを準備しておりますので是非お持ち帰りください。数に限りがございますので、おひとり様 1 点でお願いいたします。

◆京都のお菓子

会場内休憩スペースに京都らしいお菓子を準備しましたので皆様ご自由にお取りください。

◆クローク

クロークは、ラーニングコモンズ（ポスター会場横、運営事務局）にて 1 日目 8:30 ～ 21 時、2 日目 8:30 ～閉会式まで利用可能（予定）です。

◆飲食禁止区域

メインホール（藤多記念ホール）は飲食禁止となっております。アウトリーチエリア（東側のロビー）、ポスターエリア､2 階講義室 A（ランチョン会場）では飲食可能です。ごみの分別にご協力お願いします。

◆ランチョン、アフタヌーンセミナー

ランチョン、アフタヌーンセミナーは 2 階講義室 A（100 人）およびアウトリーチエリア（サテライト・50 人）で行います。軽食は先着順となりますのであしからずご了承ください。整理券などはありません。

◆拍手励行について

本学会では発表後、質疑終了後の拍手を推奨しています。すばらしい発表には格別の、そうでない発表にはそれなりの拍手をお願いいたします。

◆集合写真について

参加者（協賛企業も含めて）の集合写真を 1 日目懇親会前に撮影予定ですのでご協力いただければ幸いです。

◆懇親会

懇親会はアウトリーチエリアにて（サテライトは 2 階講義室 A）9 月 13 日 19 時 -20 時 30 分の予定で行います。事前申し込み制となっていますのでご了承下さい（1 人 1000 円）懇親会では京都大学交響楽団有志による演奏を予定しています。

◆京大 CAL 見学ツアー

懇親会の時間に（19:30- を予定）カダバートレーニングセンターである京大 CAL の見学ツアー（20 分程度）を予定しています。見学希望の先生は 19:30 にピロティ（ポスター会場）にお集まりください。

◆参加アンケートについて

参加者の皆様にアンケートをお願いしています。演題で最も印象に残ったものについて、HP からご回答お願いいたします。後日最も得票が多かった演題に対し Most Impressive 賞をお贈りします。

◆WEB 参加のみなさまへ

WEB 参加の先生方には視聴用アドレスをお送りいたします。
発表は原則現地で行っていただきます。
ポスター発表の配信はありません。

表彰式

閉会式の前に表彰式を行います。最優秀演題賞 1 人、優秀演題賞 1 人をアワードセッションから選出します。若手優秀演題賞を若手演題から選出します。またポスターアワードを各セッションから 1 人選出する予定です。（みなさま最後までご参加いただければ幸いです。）

また、Most Impressive 賞をアンケートで選出し後日表彰させていただく予定です。

託児施設の紹介について

事前にご連絡いただければ、担当者が相談をお受けいたします。

参加申し込み

参加をご希望の方は必ず事前に Web からのオンライン参加登録を行なってください。総会当日、会場での参加登録と支払いは行いません。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。（9 月 7 日までの予定）

（参加費）

非学会員	10,000 円
学会員	5,000 円
メディカルスタッフ・専攻医（6 年目以下）・大学院生	3,000 円
初期研修医	1,000 円
学部学生	無料

※参加費は非課税です。

懇親会費	1,000 円（事前登録　定員 100 名）
二次会費	5,000 円（事前登録　定員　50 名）

参加者アンケート

参加者アンケートは以下よりご回答お願いします。
https://jp.surveymonkey.com/r/12sespost

９月１３日（土）

11:00-11:05	開会の挨拶
11:05-11:10	会の案内
11:10-12:10	セッション１（発表６分質疑４分）実践・挑戦
12:10-12:20	企業広告
12:30-13:30	ランチョンセミナー
13:30-14:30	ポスターセッション１（発表５分、質疑応答３分）
14:30-15:30	セッション２（発表６分質疑４分）専門教育
15:30-16:00	コーヒーブレイク　（ぜひ展示ブースへ！）
16:00-17:00	セッション３（発表６分質疑４分）ロボット教育
17:00-18:00	Award セッション１（発表６分質疑４分）
18:00-18:30	会長講演
18:30-	学会特別賞表彰・１日目終了の挨拶・写真撮影

９月１４日（日）

09:00-09:10	会の案内
09:10-10:10	Award セッション２（発表６分質疑４分）
10:20-11:00	ASE 会長講演
11:00-11:10	企業広告
11:10-12:10	ポスターセッション２（発表５分、質疑応答３分）
12:10-12:40	アフタヌーンセミナー
12:40-12:50	休憩・移動
12:50-13:50	学生・若手セッション（発表６分質疑４分）
13:50-14:10	コーヒーブレイク　（ぜひ展示ブースへ！）
14:10-15:10	セッション４（発表６分質疑４分）若手教育
15:10-16:10	セッション５（発表６分質疑４分）教育環境
16:10-	表彰式・閉会の挨拶・次期会長挨拶

日程表

9 月 13 日 (土)

	メイン会場【藤多記念ホール】	ポスター会場【ピロティー】	サブ会場【2 階講義 A+アウトリーチ】
11:00	開会の挨拶など	ポスター貼付	
	セッション 1　実践・挑戦		
12:00	企業広告		
13:00			ランチョンセミナー
14:00		ポスターセッション 1	
15:00	セッション 2　専門教育		
16:00			コーヒーブレイク（アウトリーチのみ）
	セッション 3　ロボット教育		
17:00	Award セッション 1		
18:00	会長講演		
	学会特別賞表彰・挨拶・写真撮影		
19:00			懇親会（アウトリーチ ）
20:00		ポスター撤去	

9 月 14 日 (日)

	メイン会場【藤多記念ホール】	ポスター会場【ピロティー】	サブ会場【2 階講義 A+アウトリーチ】
9:00	会の案内	ポスター貼付	
	Award セッション 2		
10:00	ASE 会長講演		
11:00	企業広告		
		ポスターセッション 2	
12:00			アフタヌーンセミナー
	休憩・移動		
13:00	学生・若手セッション		
14:00			コーヒーブレイク
	セッション 4　若手教育	ポスター撤去	
15:00	セッション 5　教育環境		
16:00	表彰式・閉会の挨拶・次期会長挨拶		

9月13日（土）

11:00-11:05　開会の挨拶

11:05-11:10　会の案内

11:10-12:10　セッション 1　実践・挑戦

司会：髙見　秀樹（名古屋大学医学部附属病院　消化器・腫瘍外科）

O1-1　自己研鑽を充実させるオムニトレーナーの活用法
山根　裕介（長崎大学　外科学講座）

O1-2　外科教育の社会実装を志向した Off-JT エコシステム構築の実践
山田　敏之（名古屋市立大学医学部附属　みどり市民病院）

O1-3　オンライン縫合結紮コンテスト「地方結紮バトル」の取り組み
志鎌あゆみ（筑波大学　産婦人科）

O1-4　腹腔鏡手術における鉗子位置情報の取得の試み
晏　　凌波（北海道大学情報科学院）

O1-5　Surgeons as Educators Basic Course 受講を契機とした外科教育実践の見直しと 4 カ月間の取り組み報告
齊藤　朋人（関西医科大学附属病院　呼吸器外科）

O1-6　外科指導医講習会（Surgeons as Educators course：SaE）における再聴講のニーズアセスメント調査
大下　彰彦（JA 尾道総合病院消化器外科）

12:10-12:20　企業広告

12:30-13:30　ランチョンセミナー

司会：小西　靖彦（順天堂大学　医学教育研究室　特任教授）

「Educational Sparks ！ FUSE における体験型教育と Instruction Branding」

演者：渡邊　祐介（藤田医科大学 先端ロボット・内視鏡手術学講座 准教授／
北海道大学病院　医療・ヘルスサイエンス研究開発機構
臨床研究開発センター長補佐・特任講師）

共催：株式会社アムコ

13:30-14:30　ポスターセッション 1

ポスター 1

司会：成田　匡大（神戸市立医療センター中央市民病院）

P1-1　基本的外科手技の習得を目指したブタの血管・消化管を用いた吻合トレーニング
賀島　　肇（岡山大学病院消化器外科）

P1-2　ラパ胆フィードバックシステムの汎用性と言語化の効果について
　　脊山　泰治（がん・感染症センター都立駒込病院　肝胆膵外科）
P1-3　大学病院における成人鼠径ヘルニア手術教育
　　藤田　文彦（久留米大学外科）
P1-4　外科指導医講習が医学生による参加型臨床実習推進に与える影響
　　安部　智之（広島大学大学院　医系科学研究科　消化器・移植外科）
P1-5　腹腔鏡下鼡径ヘルニア手術時の膜解剖の再考と立体モデルの作製
　　中野　敢友（広島市立広島市民病院　外科）
P1-6　初期研修医に対する腹部救急画像診断教育の取り組みとその評価
　　竹原　裕子（岡山済生会総合病院　外科）

ポスター２

司会：村上　壮一（北海道大学病院先端医療技術教育研究開発センター / 消化器外科 II）

P2-1　患者、患者家族のチーム医療参加の重要性 : 医師、医師家族のアンケート調査から
　　福井由紀子（京都大学医学部付属病院）
P2-2　女子中高生対象手術支援ロボット体験セミナーを通した外科領域の early exposure の試みと有効性の検証
　　向山　順子（東京大学医科学研究所）
P2-3　外科実習における ICT 導入の実践報告：Microsoft Teams による教育支援
　　畑中　勇治（岐阜大学医学部附属病院　消化器外科）
P2-4　妊娠出産を通して再考するヘルニア手術の外科修練における有用性
　　加藤　翔子（愛知医科大学病院　消化器外科）
P2-5　腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術に対する Operative performance rating scale 導入の取り組み
　　石丸　哲也（国立成育医療研究センター　外科）

ポスター３

司会：安部　崇重（北海道大学　泌尿器科）

P3-1　地方における外科医リクルートと若手手術教育
　　富永　哲郎（長崎大学大学院　外科学講座　大腸肛門外科）
P3-2　子育て医師の外科継続とヘルニア教育の親和性
　　松浦多恵子（岩手県立胆沢病院外科）
P3-3　大学病院で鼠径ヘルニアに対し TAPP 法をはじめてみました
　　熊谷　祐子（自治医科大学　消化器一般移植外科）
P3-4　当科における大腸癌手術教育の現状と課題
　　須藤亜希子（弘前大学医学部附属病院　消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科）
P3-5　医工学連携から学んだ鉗子操作理論に基づいた内視鏡外科手術のテクニカルスキル習得
　　西澤　祐吏（国立がん研究センター東病院　大腸外科　クオリティマネジメント室）
P3-6　臨床実習前学生による課題研究に対する外科学教室の取り組み (外科医早期育成としての意義)
　　三浦　智也（東北医科薬科大学外科学第一）

14:30-15:30　セッション 2　専門教育

司会：木村　友和（名古屋大学　泌尿器科）

O2-1　これからの婦人科腫瘍専門医制度を考える
川村　温子（静岡県立静岡がんセンター　婦人科）
O2-2　スキマ時間でスキルアップ！若手泌尿器科医のための Notion による手術教材の活用と展望
西田　幸代（札幌医科大学泌尿器科）
O2-3　アニメーションによる反転授業を用いた体外衝撃波結石破砕術（ESWL）トレーニングの再構築
岡田　淳志（名古屋市立大学大学院医学研究科　腎・泌尿器科学分野）
O2-4　呼吸器外科医が修練中に感じるギャップと印象的経験に関するに全国多施設アンケート調査
本間　崇浩（聖マリアンナ医科大学　呼吸器外科）
O2-5　若手移植外科医育成のための試み　～シミュレーションとリフレクション～
大西　康晴（自治医科大学　消化器一般移植外科）
O2-6　カダバーを用いた腋窩郭清術の実習の中長期的な有用性の評価
清水　華子（京都大学医学部附属病院　乳腺外科）

15:30-16:00　コーヒーブレイク（ぜひ展示ブースへ！）

16:00-17:70　セッション 3（発表 6 分質疑 4 分）ロボット教育

司会：和田　則仁（神戸大学　医療創成工学専攻）

O3-1　ロボット支援大腸癌手術における若手外科医教育のためのシミュレーションカリキュラムの実践
眞部　祥一（静岡県立静岡がんセンター　大腸外科）
O3-2　初心者に対するロボット手術と腹腔鏡手術トレーニングによる手技習得に関する scoping review
本吉　章嵩（北海道大学消化器外科Ⅱ）
O3-3　師匠の背中を見て育つをデジタル化する―手術ロボットログを用いた手術トレーニングの未来
植村　宗則（熊本大学大学院先端科学研究部 医工学部門）
O3-4　ロボット支援下胃切除術習得に学習者のキャリアは関連するのか？
藤原　理朗（高松赤十字病院　消化器外科）
O3-5　ロボット支援手術を通じたレジデント教育　-「レジロボ」の可能性　-
深井　智司（大阪国際がんセンター消化器外科）
O3-6　SAE 受講後の小さな実践の経験 - ステップ毎の時間と評価を基準にした RARP の教育的フィードバックの試み -
新保　正貴（聖路加国際病院）

17:00-18:00　Award セッション 1

司会：本間　崇浩（聖マリアンナ医科大学　呼吸器外科）

AW1-1 アカデミックサージャン育成をサポートする：京都大学外科交流センターにおける取り組み
藤川　貴久（小倉記念病院　外科）
AW1-2 研修医や医学生に対する外科早期教育：FUSE から学ぶ電気メスハンズオンセミナーの試み
村上　圭祐（順天堂大学　産婦人科）

AW1-3 臨床工学技士を対象とした内視鏡手術カメラ操作トレーニングの開発と妥当性検証
渡邊　祐介（北海道大学／藤田医科大学／日本内視鏡外科学会）
AW1-4 遠隔ロボット手術による膵頭十二指腸切除術の膵腸吻合指導の実現性の検証
若狭　悠介（弘前大学　消化器外科）
AW1-5 ACGME マイルストンによる小児外科レジデントの技能成長評価の試み
益子　貴行（茨城県立こども病院　小児外科）
AW1-6 支持的声掛け、否定的声掛けが学習者に与える影響の検討
塩野　泰良（慶應義塾大学医学部　外科学教室（一般・消化器））

18:00-18:30　会長講演

司会：家入　里志（一般社団法人　日本外科教育学会　理事長）

「一流は人を残す～古都から始まる学びの連鎖～」

肥田　侯矢（第 12 回日本外科教育学会学術集会　会長）

18:30-　学会特別賞表彰・1 日目終了の挨拶・写真撮影

学会特別賞表彰
肥田　侯矢（第 12 回日本外科教育学会学術集会　会長）

1 日目終了の挨拶
家入　里志（一般社団法人　日本外科教育学会　理事長）

9月14日（日）

9:00-9:10 会の案内

9:10-10:10　Award セッション 2

司会：今井　賢（自治医大さいたま医療センター　産婦人科）

AW2-1 小児外科専攻医を対象とした LPEC シミュレータによる執刀前トレーニングの有効性の検証
村上　雅一（北海道立子ども総合医療・療育センター小児外科）
AW2-2 当院の外科系初期研修プログラムが消化器外科医獲得へ与える影響の検討
奥知　慶久（医学研究所北野病院　消化器外科）
AW2-3 外科系臨床実習における清潔ガウンテクニック DOPS 導入を通じた教育評価の可視化
髙橋　剛（大阪大学医学部医学科教育センター）
AW2-4 TAPP に特化したノンテクニカルスキル評価表 KUDAS-TAPP の有用性の検証
内藤　善（手稲渓仁会病院外科）
AW2-5 仮想現実 (VR) 技術を用いた婦人科骨盤解剖教育の有用性の検討
櫻井　梓（京都大学産婦人科）
AW2-6 手技理解・自己評価を支援するwebアプリケーションの効果検証：ランダム化パイロットスタディ
永代　友理（東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター医学教育学部門）

10:20-11:00　ASE 会長講演

司会：Saseem Poudel（北海道大学　消化器外科 II）

「**The Science of Teaching in the Operating Room.**」

講師：Aimee Gardner, PhD
(Professor, Surgery-GI, Trauma and Endocrine Surgery, University of Colorado President, Association for Surgical Education.)

11:00-11:10　企業広告

11:10-12:10　ポスターセッション 2

ポスター 4

司会：徳野　純子（マギル大学ステインバーグセンター）

P4-1　鏡視下 S 状結腸切除術における「物語」的理解を活用した専攻医指導の試み
八岡　利昌（東京女子医科大学病院　総合診療科）
P4-2　満足度の高いハンズオンセミナーのコツ
笠原　桂子（京都大学医学部附属病院　消化管外科）
P4-3　SIMPL を用いた手術評価システムの導入と実践について
小谷　泰史（近畿大学医学部産科婦人科学教室）
P4-4　膵空腸吻合における手術手技定型化と外科教育
吉村　隆宏（厚生連高岡病院外科）

P4-5　外科専攻医の臓器別診療科ローテーション時評価表の効果と妥当性の検討
　伊良部真一郎（聖隷浜松病院　外傷救急外科）
P4-6　当科におけるロボット手術の術者教育
　藤森　大輔（厚生連高岡病院外科）
P4-7　「使いやすさ」と「学びやすさ」を兼ね備えた VR シミュレーション
　徳野　純子（マギル大学ステインバーグセンター）

ポスター 5

司会：野間　和広（岡山大学　消化器外科）

P5-1　「本物」の真皮縫合教育は可能か？真皮埋没縫合シミュレーター BUYSSkin 開発物語
　安村　恒央（JA 愛知厚生連　海南病院　形成外科）
P5-2　腎移植教育におけるニーズギャップへのアプローチ：グループ討議を活用した実践的学習の試み
　野原　隆弘（金沢大学附属病院 泌尿器科）
P5-3　消化器外科手術の「学び直し」における腹腔鏡下胆嚢摘出術の意義と重要性：自らの経験を通じた考察
　森本　智紀（高松赤十字病院　消化器外科）
P5-4　ヘルニア手術を通じた若手医師教育の現状と今後の課題
　赤坂　治枝（弘前総合医療センター　消化器外科）
P5-5　hinotori ™ ロボット手術シミュレータを用いた医学生に対する early exposure の取り組み
　鍋島　一仁（東海大学医学部付属八王子病院消化器外科）
P5-6　見学者から学習者へ：呼吸器外科教育における主体性を育む取り組みと課題
　前田　光喜（鹿児島大学呼吸器外科）
P5-7　外科手術教育における最適なコーチングとは？
　上田　貴威（大分大学医学部総合外科・地域連携学講座）

ポスター 6

司会：多賀谷信美（板橋中央総合病院　消化器病センター長）

P6-1　当科における外科教育の工夫
　川野　陽一（日本医科大学付属病院消化器外科）
P6-2　AI と外科医の解剖学的知識を融合させた新たな臓器 3 D モデル構築
　木村　　隆（福島県立医科大学外科）
P6-3　データ解析から特徴を具体化 !My intuitive のデバイス使用解析による教育
　橋本　将志（岡山大学病院　消化管外科）
P6-4　入力漏れゼロへ：Web 評価システムによる臨床実習 360 度評価の自動化
　堀　周太郎（慶應義塾大学医学部　外科学教室）
P6-5　臨床研修医を対象とした手術手技解剖実習の試み
　山崎　博司（京都大学医学部附属病院　総合臨床教育・研修センター）
P6-6　腹腔鏡下ヘルニア根治術における web を主体とした施設横断型の手術教育は有用か？
　田中　英治（医学研究所北野病院）

12:10-12:40　アフタヌーンセミナー

司会：小濵　和貴（京都大学 消化管外科）

「教育の力 ～ロボット時代の技術の継承～」

演者：砂田　真澄（京都大学 婦人科学産科学教室）

共催：コヴィディエンジャパン株式会社

12:40-12:50　休憩・移動

12:50-13:50　学生・若手セッション

司会：大下　彰彦（JA 尾道総合病院消化器外科）

YO-1　解剖実習を経験しなかった学生の臨床実習に対する取り組みの変化
　齋藤　幹広（京都大学医学部医学科）
YO-2　外科手技の Early Exposure における課題と動機付けの影響：学生生活でのひも倶楽部の活動を通じた考察
　金田　　凌（杏林大学医学部医学科 6 年）
YO-3　本学での Surgery 同好会としての取り組み
　松村　駿佑（日本医科大学医学部医学科 4 年）
YO-4　外科医の離職を導くバーンアウトの過程：ナラティブレビュー
　佐野　海渡（北海道大学大学院医学研究院　消化器外科学教室Ⅱ）
YO-5　PDR サイクルと多彩な執刀経験を通じた成長－地方病院における専攻医研修の実践報告－
　美谷　幸喜（本荘第一病院　外科）
YO-6　研修医へのアンケート調査による、消化器外科へのマイナスイメージ形成の検討
　薬師川高明（田附興風会医学研究所北野病院消化器センター外科）

13:50-14:10　コーヒーブレイク（ぜひ展示ブースへ！）

14:10-15:10　セッション 4　　若手教育

司会：山根　裕介（長崎大学　外科学講座）

O4-1　「外科手技の継承」講義による結紮スキル習得と自己学習の促進効果
　髙見　秀樹（名古屋大学医学部附属病院　消化器・腫瘍外科）
O4-2　医学部低学年における外科志望者の心理的特性の分析
　服部　　稔（広島大学大学院医系科学研究科 医学教育学講座）
O4-3　若手医師教育における手術記録・動画の統合的活用手法の構築
　八木　史生（本荘第一病院　外科）
O4-4　医学生の外科手技教育における目標設定と競争意欲の有用性
　仲澤　順二（札幌医科大学 心臓血管外科）
O4-5　初期臨床研修で外科の魅力を伝える試みの成果と課題～研修医が執刀に挑戦する～
　今井　健晴（岐阜市民病院　外科）

O4-6　外科専攻医を対象としたラパコレ修練システム－11th SES での発表を反映した導入 2 年目の現状－
　真島　宏聡（広島市立広島市民病院外科）

15:10-16:10　セッション 5　教育環境

司会：磯部　真倫（岐阜大学医学部附属病院　産婦人科）

O5-1　32 年に及ぶ当院での若手医師リクルートの現実と提言
　蜂須賀丈博（市立四日市病院　外科）
O5-2　パワハラ事例から検討する厳しい指導とハラスメントの境界線～より良い外科教育環境を目指して～
　直居　裕和（熊本市民病院産婦人科）
O5-3　若手医師が安心して発言できる教育環境の構築 ―心理的安全性の観点から―
　久保　寛仁（大館市立総合病院　外科）
O5-4　外科教育改革の抵抗と教育者の孤立：ナラティブレビュー
　石堂　敬太（市立旭川病院）
O5-5　術後の“言えなかったこと”を届ける：オンラインフォームで創るフィードバック文化
　横山　拓史（大館市立総合病院　外科）
O5-6　Cadaver Surgical Training における倫理リテラシー育成：e ラーニングによる標準教育プログラムの構築
　村上　壮一（北海道大学病院先端医療技術教育研究開発センター / 消化器外科 II）

16:10-　表彰式・閉会の挨拶・次期会長挨拶

閉会の挨拶
　肥田　侯矢（第 12 回日本外科教育学会学術集会　会長）

次期会長挨拶
　髙見　秀樹（名古屋大学医学部附属病院　消化器・腫瘍外科）

謝辞

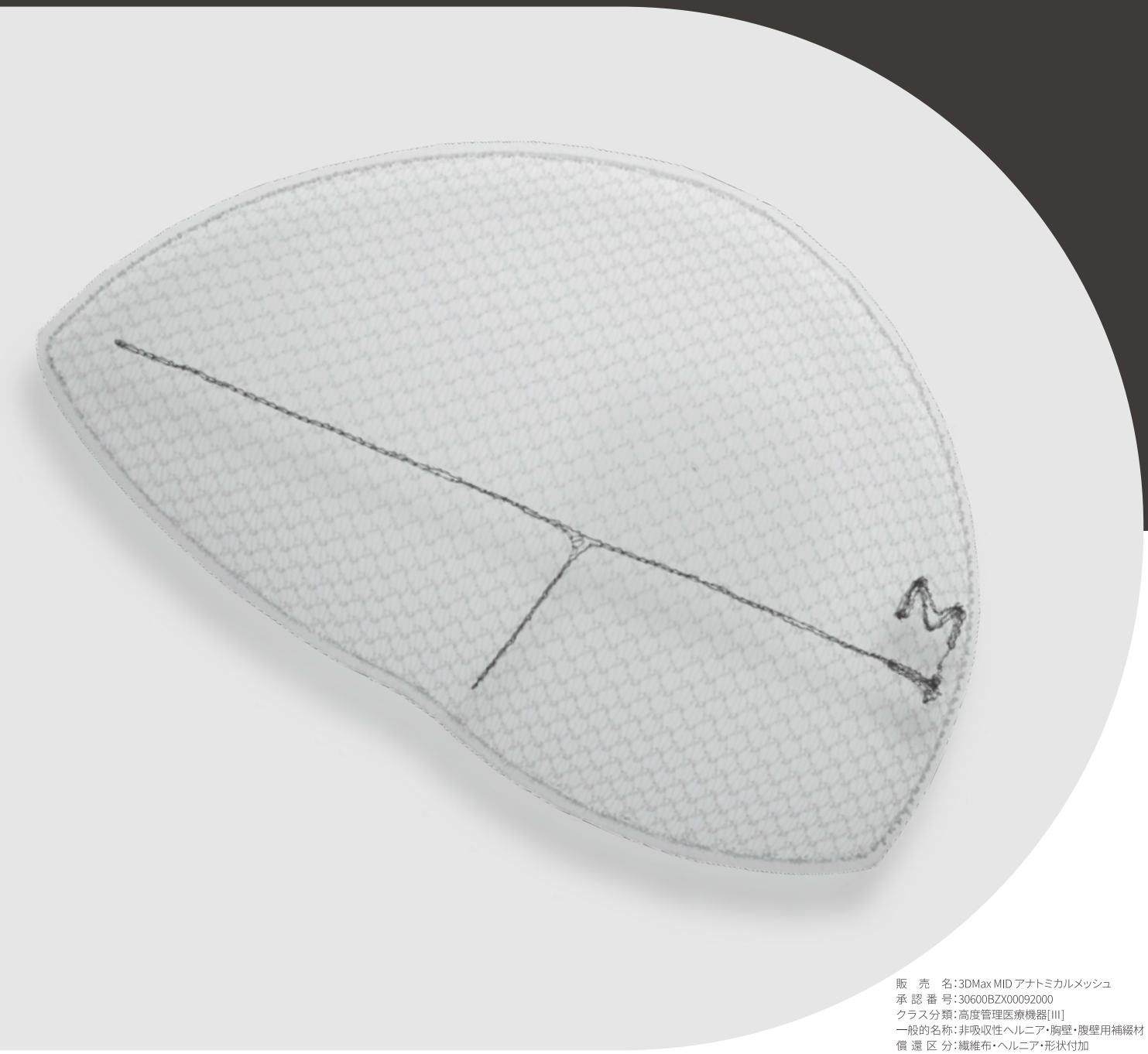
第 12 回日本外科教育学会学術集会（SES2025）の開催にあたり、下記の企業・団体より多大なるご支援を賜りました。
ここに謹んで御礼申し上げます。

第 12 回日本外科教育学会学術集会
会長　肥田　侯矢

◆ご協力企業・団体

株式会社アステム
アステラス製薬株式会社
株式会社アピール
株式会社アムコ
エム・シー・メディカル株式会社
おうみ在宅クリニック
医療法人大阪日帰り外科そけいヘルニアクリニック
オリンパスマーケティング株式会社
科研製薬株式会社
京都市
公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー
コヴィディエンジャパン株式会社
KOTOBUKI Medical 株式会社
株式会社ジェイエスエス
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
ソルベンタム合同会社
株式会社ツムラ
TOPPAN 株式会社
富士フイルム株式会社
ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
株式会社メディカルリーダース
株式会社メディコン
ヤンセンファーマ株式会社

（五十音順）



販　売　名：3DMax MID アナトミカルメッシュ
承 認 番 号：30600BZX00092000
クラス分類：高度管理医療機器[III]
一般的名称：非吸収性ヘルニア・胸壁・腹壁用補綴材
償 還 区 分：繊維布・ヘルニア・形状付加

鼠径ヘルニア修復用メッシュ

3D Max®（ミディアムタイプ）

TAPP法、TEP法および
Robotic TAPP法 のような鏡視下アプローチのための
立体型モノフィラメントポリプロピレンメッシュ

・事前に必ず電子添文（注意事項等情報）を読み、本製品の使用目的、禁忌・禁止、警告、使用上の注意等を守り、使用方法に従って正しくご使用ください。
・本製品の電子添文は独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページで閲覧できます。

製造販売元
株式会社メディコン
カスタマーサービス www.bdj.co.jp/s/cs/

bd.com/jp/

BD, the BD Logo, and all other trademarks are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates. ©2024 BD. All rights reserved.

Respect their Pride

がんであきらめることのない未来のために

一人ひとりの「自分らしく生きる」に貢献します。

ヤンセンファーマ株式会社
〒101-0065 東京都千代田区西神田3-5-2

©Janssen Pharmaceutical K.K. 2024　2024年8月作成

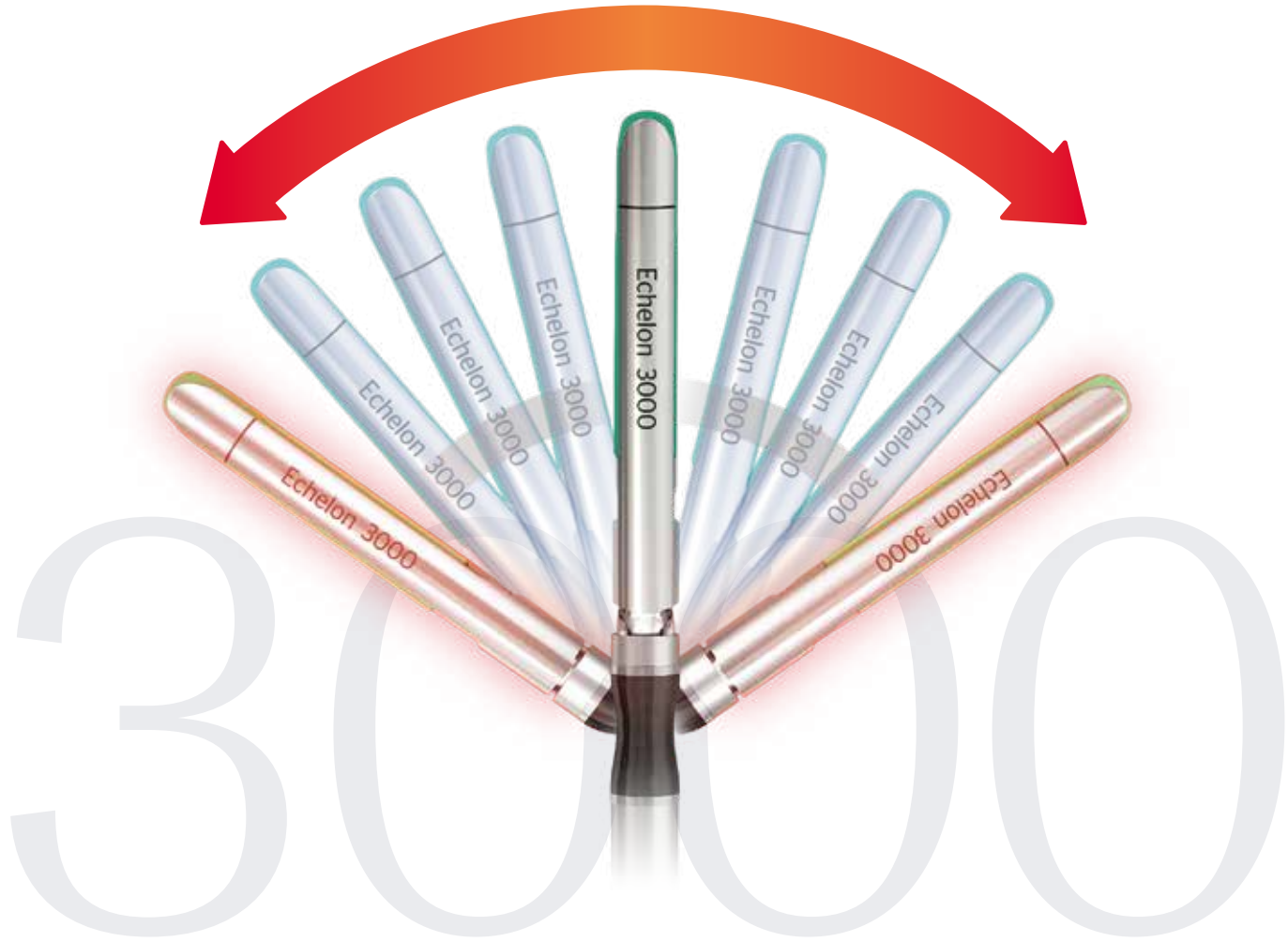
※この写真はイメージであり、人物はモデルです。

Johnson
&Johnson

Johnson&Johnson
MedTech

無段階の
電動アーティキュレーション

Powered continuous articulation



Powered ECHELON FLEX® 3000

販売名：エンドスコピック パワード リニヤー カッター　認証番号：22500BZX00396000
販売名：エンドパス ステイプラー Powered ECHELON FLEX 3000　認証番号：304AABZX00060000
販売名：GST カートリッジ　承認番号：22700BZX00155000
製造販売元：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社　〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-5-2　TEL.0120-160-834

JP_ETH_ALLE_393309
©J&JKK 2024

OLYMPUS

製造販売元　オリンパスメディカルシステムズ株式会社	
販売名	医療機器番号
パワーシール	30400BZX00265000
高周波手術装置 ESG-410	30400BZX00264000
超音波バイポーラ手術装置 USG-410	30200BZX00058000

POWERSEAL

快適性を追求した高周波シーリングデバイス

POWERSEALは、シーリングデバイスに求められる多様なニーズをもとに設計されました。
高い封止能をはじめ、人間工学に基づいたハンドルとメリーランド型の先端形状により
直感的かつ快適な操作をサポートします。

主な特長

Strong Sealing	7mm以下の血管封止
Multi-functional Design	把持・剥離・止血など、さまざまな機能で手術をサポート
Improved Ergonomics	人間工学に基づいたハンドルデザインにより、手の疲労軽減をサポート

オリンパス マーケティング株式会社

www.olympus.co.jp

R886U

患者さん自らが持つ免疫力を、
がん治療に大きく生かすことはできないだろうか――。
小野薬品とブリストル・マイヤーズ スクイブは、
従来のがん治療とは異なる
「新たながん免疫療法」の研究・開発に取り組んでいます。

小野薬品工業株式会社

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

Immuno-Oncology　未来をひらくがん免疫療法

2023年3月作成

承認番号20900BZY00790000
高度管理医療機器 保険適用

癒着防止吸収性バリア
セプラフィルム®
ヒアルロン酸ナトリウム/カルボキシメチルセルロース癒着防止吸収性バリア

●禁忌・禁止を含む使用上の注意等については
電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入) バクスター・ジャパン株式会社
東京都港区芝浦三丁目4番1号グランパークタワー30階

発売元
文献請求先
及び問い合わせ先
KAKEN 科研製薬株式会社

〒113-8650 東京都文京区本駒込二丁目28番8号
医薬品情報サービス室

JP-AS30-220198 V3.0
SPF08CP（2024年1月作成）

FM-105HS
FASMEDO
ワイヤレスヘッドライトカメラセット
Fasmedo®
Medical Originality

その瞬間を、一緒に。術者の視点をリアルタイム共有。

法第二条第四項適用外

販売元 JSS 株式会社ジェイ エス エス

ワイヤレスで、術者の視点を共有。より詳しい製品情報を知りたい方はこちら。
https://jssco.co.jp/ JSS 医療

製品の詳細はこちら

漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラは考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤にとって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを抑える技術を追求。これからもあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

良質。均質。ツムラ品質。

ツムラ

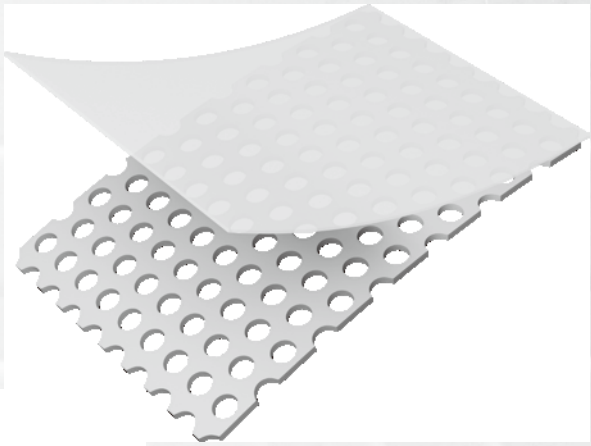
株式会社ツムラ　https://www.tsumura.co.jp/　資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。
医療関係者の皆様 tel.0120-329-970　患者様・一般のお客様 tel.0120-329-930　受付時間 9:00～17:30（土・日・祝日は除く）

2021年4月制作 審

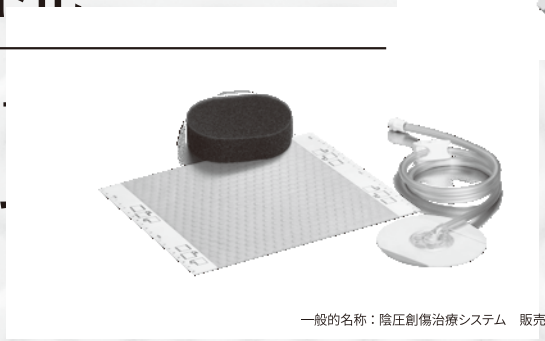
solventum

新しい驚きと喜びを。

アクリルとシリコーンの 2 層構造による新しいドレープをキット化



3M™ V.A.C.® Dermatac
V.A.C.® グラニューフォー
ドレッシングキット



- 皮膚に優しく不快感を軽減
- 十分な密閉性を維持
- 貼付が簡便、位置調整も可能

一般的名称：陰圧創傷治療システム　販売名：V.A.C.Ulta 治療システム　医療機器承認番号：22900BZX00204000

弊社の NPWT 製品情報に関してはこちらをご覧ください。 https://www.3mcompany.jp/3M/ja_JP/medical-jp/npwt/vac/

ご使用の際は製品添付文書および取扱説明書をご参照ください。
Solventum およびそのロゴ、その製品名等に使用される商標は Solventum 及びその関連会社の商標です。3M およびそのロゴは 3M およびその関連会社の商標です。その他の商標はそれぞれの権利者の商標です。

製造販売元
ケーシーアイ株式会社

Please Recycle. Printed in Japan.
© Solventum 2024. All Rights Reserved.

弊社製品に関するお問い合わせ
0120-897-706

CONMED

AIRSEAL SYSTEM

製造販売元
CONMED
コンメッド・ジャパン株式会社
〒105-0004　東京都港区新橋 5-20-4 新虎サウスビル 8 階
TEL : 03-6435-8170　FAX : 03-6435-8407
https://www.conmed.com/ja/

販売元
エム・シー・メディカル株式会社
〒108-0075　東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー 12 階
TEL : 03-5715-2800　FAX : 03-5715-2801
https://www.mcmed.co.jp/

製造販売元：コンメッド・ジャパン株式会社
販売名：エアシール・インテリジェント・フローシステム　（一般的名称：内視鏡用送気送水装置）医療機器製造販売認証番号：22900BZX00390000
特定保守管理医療機器該当
販売名：エアシール dV トロカー　（一般的名称：腹部用トロカール）　医療機器製造販売認証番号：303ADBZX00085000
販売名：エアシール・チューブ　（一般的名称：気腹用チューブ）　医療機器製造販売届出番号：13B1X10241001001

2025-03-A5a

医療法人 大阪日帰り外科 そけいヘルニアクリニック
理事長・院長 岩村 宣亜（いわむら せんあ）

2025年8月、累計手術件数2,000件を達成しました。先生方の日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

※対象期間：2022年8月～2025年8月

OSAKA 大阪日帰り外科 そけいヘルニアクリニック Osaka Inguinal hernia Clinic

院長メッセージ

昨今、鼠径ヘルニア診療の意義は、嵌頓の予防から機能改善へと移り変わりつつあります。この流れから、鼠径ヘルニア診療に携わるすべての外科医には、再発率の低減と同程度に患者満足度の向上が求められています。再発と慢性疼痛という、一見相反する合併症のリスクを同時に低減する取り組みや工夫が、世代を超えて今後も求められていく中で、我々はどうあるべきなのでしょうか。

ただ治す、だけではなく、患者ごとに異なる術後をイメージして、最善の取り組みを施す。それに求められる技術や経験を培い、後進に伝える。ヘルニア専門施設として、また社会の一員として、流れを生み出し未来へ引き継ぐ。そんな医療機関であり続けることを目指します。今後とも大阪日帰り外科そけいヘルニアクリニックを、どうぞよろしくお願い申し上げます。

OSAKA 大阪日帰り外科 そけいヘルニアクリニック Osaka Inguinal hernia Clinic

外科　消化器外科

当院は、JR大阪駅から徒歩3分の「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」13階に位置する、鼠径ヘルニアの内視鏡日帰り手術専門クリニックです。鼠径ヘルニアの診療に特化し、疾患への知識と経験を蓄積するとともに、手術技術の向上に努めています。

06-4797-7018

時間/曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00-12:00	●	●	ー	●	●	●	●	●
12:00-17:00	●	●	ー	●	●	●	●	●

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目13番1号
大阪梅田ツインタワーズ・サウス13階

まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。
世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。
明日を変える一錠を創る。
アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。

astellas
アステラス製薬株式会社

www.astellas.com/jp/

プログラム作成者

山根　裕介

喜安　佳之

SES プログラム委員会

事務局長　前田　将宏

学会会長　肥田　侯矢

マイス株式会社

表紙デザイン

石堂　敬太